

ティーチング・ステートメント

所属 建築学科

名前 千葉隆弘

作成日 2023年3月22日

【責任】

建築学科で建築構造を専門としている。授業は、1年生から3年生まで建築構造力学や建築物に作用する荷重・外力の評価に関する内容とともに、木質構造の内容を担当している。また、建築総合演習Ⅰという二級建築士における学科試験の過去問題を題材とした演習で、法規の一部と構造の科目を担当している。その他、2年生の前期に、木造、鉄筋コンクリート造、および鉄骨造における製図の演習科目を担当している。卒業研究は、毎年8名程度の学生を指導している。

【理念】

理念は、「責任をもって行動できる建築技術者の養成」である。現在、建設業では、一級建築士などの資格保有者が一斉にリタイアし、技術者が大きく不足することが確実視されている。さらに、建設業の人材不足が深刻である。多くの企業では、一級・二級建築士の取得を促す取り組みが行われており、技術者の養成は「まったなし」の状況下にある。一方、建築士法が改正され、学部4年卒業直後に一級建築士が受験できるようになった。これは、大学での専門分野教育が資格取得に直結することを意味している。従って、学生については、主体性、特に、様々な分野の中から建築物を世に創造するという分野を選択して入学したという責任感、さらには、建築主の要求に対して努力し、時には建築主に対して適切にアドバイスするなど、社会で通用するための知識・技術を身に着けるという責任感を持って自立的・自律的に大学での学習に取り組み、技術者として成長するための基盤を形成することが極めて重要であると考え。

【方針・方法】

上記の理念に基づいて設定した教育の方針は、「学生の学習時間確保」、「学生の勉強方法の改善」、および「学生自身における専門分野に対する適性の熟考」である。これらの方針に従うと、講義・演習の方法はいずれの方針に対しても共通するため、以下のような「主体性」や「責任感」を重視した講義・演習を展開している。

- いずれの授業・演習においても実務に通じる「実践的」な内容とし、学生自身が主体性や責任感の重要性に気づいてもらう。資格取得だけでなく仕事も含めて、将来は自立的・自律的な行動にかかっていることに気づいてもらう。
- 作り込んだスライドを授業で用いるとともに、例題が示された出席レポートを配布し、ノートを書くような作業を学生に要求することによって、授業の参加を促す。
- 授業時間以外において授業の振り返りやレポート作成スキルの向上をはかって頂くため、動画を作成して公開する。
- 2コマ授業では、1~2時間を要する演習問題を学生に提示し、主体性を持った学習を促す。また、宿題を提示し、授業時間以外の学習時間を確保する。
- 学生に授業の内容を振り返らせることを目的に、復習の演習問題を提示し、時には、現在の達成度を診断するため、テスト形式の演習を実施する。
- 課題やレポートの提出には必ず期限を設け、遅延提出の場合は減点する。

【評価・成果】

- 授業改善アンケートの結果をみると、いずれの科目においても、「総合的に不満足」と答えた学生は10%程度であった。
- 教育活動に対する真の評価・成果は、卒業生の資格取得状況であると考え。しかし、卒業後の一級・二級建築士取得者は、統計を取るのが困難である。卒業生との話

の中では、二級建築士はほどほど取得している模様である。一級建築士については、これからだと考えられるが、それほど良くないと捉えている。特に、大手企業に勤めている卒業生については、頑張ってもらいたい。

- ゼミ活動において就職活動に関する対応を実施しており、始めはエントリーシートを作成となる。適正な内容で記述することができない学生が続出している。学生の自己分析が進んでおらず、職種の適性を見出せていないことに起因していると考えられる。

【目標】

- 作成する教材は、さらに手間をかけて充実させる。
- 学生のテストに対する「一夜漬け」防止のための単元テストの導入や、レポートの作成時間を十分に確保するなど、学生の学習習慣を身に付けさせる。
- オフィスアワーを活性化する。特に、建築構造力学に対するオフィスアワーについては、これまで以上に時間を割く。
- 卒業生に対するオフィスアワーを充実させる必要がある。現在、卒業生が大学を訪問し、私が一級建築士における学科試験問題の一部を教えている。こうした取り組みをモデル化する。
- 学生の自己分析を促進させるため、学外の方々による講演会の企画に加えて、企業のOB訪問やインターンシップを積極的に促す。
- 大きな長期目標としては、国内の第一線ではなくても良いので、社会で活躍できる人材の育成である。資格取得でつまずいては話にならない。建築設計・施工のプロジェクトで卒業生がイニシアチブをとっている姿をみたい。